



(←HP)

「新たな時代」

校長 菅谷 和孝

この夏、「Chat GPT」や「生成 AI」という言葉を耳にすることが多かったのではないのでしょうか。テレビやニュース、インターネットでも盛んに取り上げられ、私たちの生活や社会のあり方を大きく変えようとしています。AI が小説やレポートを瞬時に作成したり、画像や音楽を生み出したりする時代。これは、単なる便利な道具の登場ではありません。私たち人間がこれまで当然と考えてきた「知識を記憶し、正確にアウトプットする」という学習の価値が、根本的に問い直されています。

これからの時代に求められるのは、AI が導き出した答えを鵜呑みにせず、「なぜそうなるのか」を深く探求する力です。そして、AI が持つ膨大な情報を活用しながら、自ら問いを立て、新たな価値を創造する力です。これからの学びは、AI を使いこなす「道具」として捉えるだけでなく、AI と共生し、共に未来を創るための「パートナー」として理解することが重要になります。教科書の内容をただ暗記するのではなく、その背景にある歴史や科学のつながりを考えてみたり、社会の出来事と結びつけてみたり、例えば、理科の実験で失敗したとき、その原因を AI に尋ねるだけでなく、なぜその失敗が起こったのか、どうすれば改善できるのかを、仲間と議論してみるのも面白いかもしれません。AI は答えを提供してくれますが、考える過程は AI にはできません。そこにこそ、人間としての私たちの価値があるのではないかと思います。

さて、今年の夏といえば、いよいよ最終盤を迎えた「大阪・関西万博」が印象にあるかと思います。実際に現地で見学をしてきた生徒もいるのではないのでしょうか。万博では、最先端の技術や未来社会のビジョンが提示されていますが、8月13日の夜に交通システムの不具合が生じ、多くの来場者が足止めされるというトラブルがありました。この状況を受けて運営側は会場を臨時に開放しましたが、各パビリオン等の施設でも国や企業の垣根を超え施設を開放したり、売り物を無償で提供したりと、支え合いながらオールナイト万博として話題になり、SNS でも「この困難な状況の中で見せた人々の創造性とスタッフさんの献身的な対応には、心から感動させられました。」と参加者からのコメントも多くありました。



今までも日本は多くの災害に見舞われ、その旅に「協調の力」と「コミュニケーション」の重要性を私たちに教えてくれました。トラブルという予期せぬ事態に直面したとき、個々の利害を超えて協力し合うことで、人はより大きな問題を解決できるのです。

私たちは、毎日たくさんの人と出会い、会話を交わしています。しかし、その一つひとつは奇跡のようなものです。今日話した友達や先生、すれ違った先輩。朝送り出してくれた家族、近くからも遠くからも見守ってくれている地域の人々。その出会い(瞬間)は、今日この時だけのものであり、明日同じ状況が繰り返されるとは限りません。だからこそ、一つひとつの出会いを大切に「一期一会」の心で、誠実に向き合うことが重要です。

ここで、パナソニックを創業した「松下幸之助」という方の逸話から考えてみたいと思います。彼が残した言葉に、「無理と簡単に口にするものは成功しない」という言葉です。起業して間もない松下電器器具製作所時代のことです。社長である松下氏がある商品の提案をした際、1人の従業員に意見を求めたそうです。その時の1人が「無理です」と簡単に口にし、別の従業員に同じ質問をしたところ、「面白いですね」と前向きな言葉が返ってきたそうです。後にその商品はヒット。さらに無理と口にした従業員は事あることに無理と行くことが多く、結果辞めていったそうです。一方、前向きな言葉を口にした従業員は出世して重大なポジションに就いたとされています。安易に「無理」だと簡単に歩みを止めるのではなく、どうすればそれを可能にできるかと、創意工夫を凝らして解決を見出していくことの大切さをそこから学んだと言っています。

これは、日々の学習や部活動にも当てはまります。苦手な教科でも、どうすれば理解できるか。チームの課題でも、どうすれば解決できるか。一見「無理」と感じるようなことでも、一歩踏み出し、工夫を凝らせば、必ず道は開けていきます。

今の中学生は、これからの変化の激しい時代を生きる中心的存在です。日々の「一期一会」を大切に、コミュニケーションを通じて他者と協調すること。そして、松下幸之助の言葉のように、「無理」だと決めつけずに、どうすればできるかを考え、実行することが大切だと感じます。国境を越えて助け合った万博の出来事のように出会いを大切に捉え方、可能性を追求する前向きな思考と行動力。このような力を身につけることで、未来は無限に広がります。2 学期も多くの行事が待っています。様々な経験から多くを学び、さらなる成長を楽しみにしています。保護者・地域の皆様も、引き続きご支援、ご協力を宜しくお願いいたします。